

第6回 未来創造セミナー実績報告

平成28年4月7日
草津市総合政策部草津未来研究所

1. 平成27年度未来研究所事業 未来創造セミナーの目的

草津未来研究所が行った過去の調査研究において南草津の課題解決のためには「気軽に自由に議論や話ができる空間が演出され、常に新しい出会いが創造」される場が必要との提言を行ったことから、「未来創造セミナー」を開催することとしました。未来創造セミナーにおける主な検討項目は下記のとおりでした。

【検討項目】

- ・ トーク空間の必要性の検討（検証）
- ・ 気軽に自由にまちづくりについて議論や話ができる空間に対する市民のニーズ把握
- ・ 気軽に自由に議論や話ができる空間演出の検討
- ・ ワークショップ等の手法の試行
- ・ 開催曜日、開催時間等のニーズ調査

2. 未来創造セミナーの開催内容

未来創造セミナーは、まちづくりについて行政、大学、市民（在住者、通学市民、通勤市民、活動市民、企業市民）が自由に話し合う開かれた場であり、今年度はテーマ、及びワークショップ手法を変え、6回しました。

未来創造セミナーの目的は「開かれた場の有効性と空間演出の検討ですが、各回のテーマについては下記のことを期待して開催しました。

- ・ 草津未来研究所主催、担当課が協力することにより、担当課の職員も市民の立場でも対話できる仕掛け。
- ・ 担当者が市民と直接対話することにより、間接的にまちづくり政策に反映を期待。
- ・ 和やかな雰囲気の中で異なる立場の他者の意見を聞くことによる新たな気づきや抱いている思いを言葉に出す。
- ・ まちづくり政策への反映は担当課が判断する。

また未来創造セミナーの基本的な流れは以下の通りです。

- ・ まちづくり政策についてのアンケート結果等をわかりやすく説明するだけでなく、アンケートで見えなかったことを参加者に問いかける。

- ・ 大学の先生から、問いかけを考える上での基礎的知識やヒントを提供する。
- ・ 様々な立場の人がワークショップで解決策を話し合う。
- ・ 参加者全員で個々の意見や経験を共有する。

3. 未来創造セミナー開催実績

今年度は下記のとおり実施しました。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
テーマ	理想とする女性の働き方	子育てしやすいまち	アーバンデザイン	文化	健康	大学地域連携
庁内連携部署	男女共同参画室	子ども・子育て推進室	都市計画課	未来研究所	未来研究所	未来研究所
専門家	二宮周平 (立命館大学) 京楽真帆子 (滋賀県立大学)	小沢道紀 (立命館大学)	武田史朗 (立命館大学)	木下達文 (京都橘大学)	岡本直輝 (立命館大学)	肥塚浩 (立命館大学)
開催日時	平成27年 7月30日 14:00～16:30	平成27年 8月25日 14:00～16:30	平成27年 11月5日 18:00～20:00	平成27年 12月3日 18:15～20:15	平成28年 1月26日 10:00～12:00	平成28年 3月26日 10:00～12:00
場所	市民交流プラザ（南草津駅前）					

4. 第6回 未来創造セミナー実績報告

(1) テーマ、目的等

①テーマ

「みんなで考えよう、明日の草津！

～公民学連携のプラットフォーム“アーバンデザインセンター”～」

②目的

草津未来研究所が行った過去の調査研究において南草津の課題解決のためには「気軽に自由に議論や話ができる空間が演出され、常に新しい出会いが創造」される場が必要との提言を行ったことから、「未来創造セミナー」を開催することとしました。未来創造セミナーにおける主な検討項目は下記のとおりでした。

【検討項目】

- ・ トーク空間の必要性の検討（検証）
- ・ 気軽に自由にまちづくりについて議論や話ができる空間に対する市民のニーズ把握
- ・ 気軽に自由に議論や話ができる空間演出の検討
- ・ ワークショップ等の手法の試行
- ・ 開催曜日、開催時間等のニーズ調査

今回は未来創造セミナーの最終回ということで、過去5回の経験を踏まえ、より市民のみなさんが草津の未来について語り合い、実践につなげる仕組みとして全国11か所で展開しているアーバンデザインセンターをご紹介します。

(2) 日時：3月26日（土）10：00 から 12：00

(3) 場所：市民交流プラザ 大会議室

(4) 当日のスケジュール

10：10	ご挨拶 草津市総合政策部草津未来研究所 副所長 山本 憲一)
10：15 ～ 10：25	未来創造セミナーについて 草津市総合政策部草津未来研究所 参事 溝内 辰夫
10：25 ～ 10：45	公民学連携のプラットフォーム 「アーバンデザインセンター」について 立命館大学教授・草津未来研究所顧問 肥塚 浩
11：15 ～ 12：15	ワークショップ 大学と市民が一緒にやりたいこと、できること
12：20	閉会

5. 第6回未来創造セミナーの内容について

(1) 未来創造セミナーについて

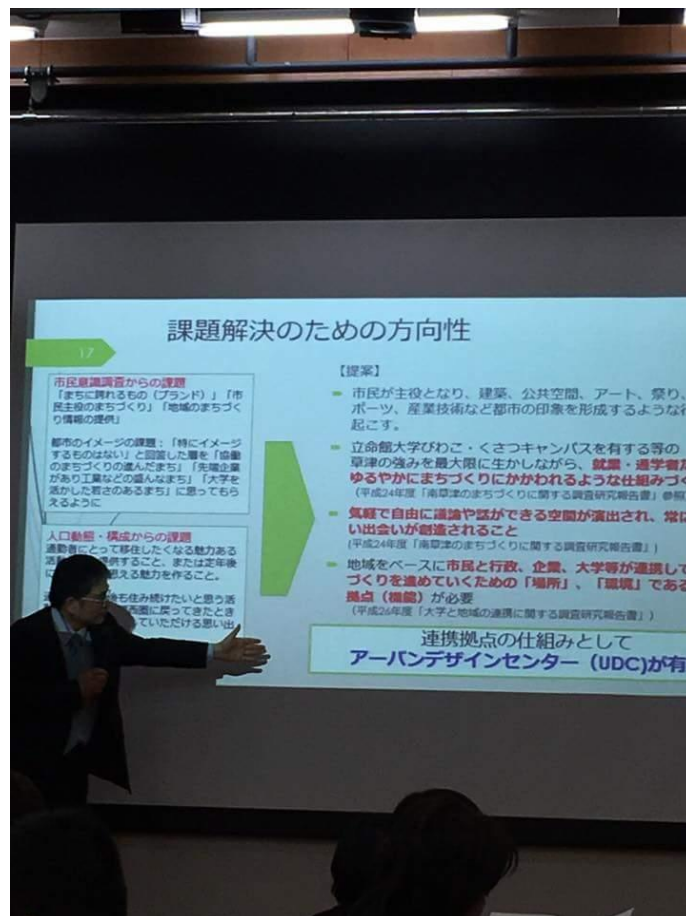
草津市総合政策部草津未来研究所参事 溝内 辰夫

過去5回の未来創造セミナーの開催実績とアンケート結果について報告しました。その結果、当初の未来創造セミナーの目的が達成されたこと、次のステップとして常設の活動拠点が必要なことがわかりました。

(2) 公民学連携のプラットフォーム「アーバンデザインセンター」について

立命館大学教授・草津未来研究所顧問 肥塚 浩

未来創造セミナーと並行して大学と地域の連携強化策を議論していた大学地域連携強化プラン懇話会において纏められた草津版アーバンデザインセンターの概要について、同懇話会で座長を務めていただいた肥塚先生にご説明いただきました。



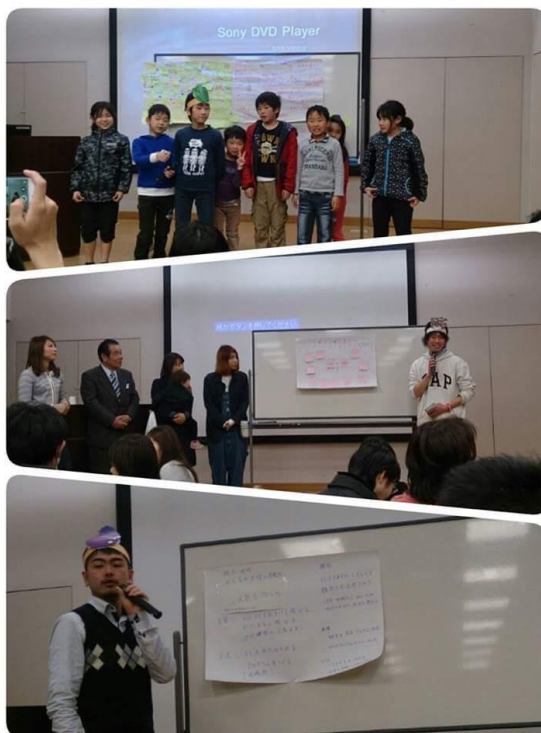
肥塚先先生のご講演の様子

(3) ワークショップ

大人グループ8組と子どもグループ2組に分かれ、「大学とやりたいこと、できること」についてみんなで話し合い、発表していただきました。



ワークショップの子どもたち



発表の様子

6. 未来創造セミナーとしてのまとめ

(1) 参加者属性

今回は家族で参加を目標に土曜日の午前中に開催しました。定員30名に対し、80名の方に参加いただきました。未成年が26名参加し、そのうち、小学生以上の11名にワークショップに参加していただきました。

参加者属性							
(1) 属性別参加状況		(2) 性別参加状況		(3) 年代別参加状況		(3) KIDS年代別参加状況	
属性	人数	性別	人数	年代	人数	年代	人数
市民	36	男	25	20代	6	未就学児	15
学生	7	女	29	30代	7	小学低学年	3
企業	2	その他	0	40代	10	小学中学年	5
大学	5	合計	54	50代	4	小学高学年	3
職員	4	(2) KIDS性別参加状況		60代	1	合計	26
合計	54	性別	人数	不明	26		
		男	14	合計	54		
		女	11				
		不明 その他	1				
		合計	26				

(2) アンケート集計結果

未来創造セミナーは参加した方々の満足度は高く、「物足りない」「非常に物足りない」も「時間が短い」という理由でした。

(回答数：31人)

問い	非常に有意義	有意義	まあまあ	物足りない	非常に物足りない	合計
運営等全般	20	8	0	2	1	31
内容	23	7	0	1	0	31
問い	大いに活かせる		いくらか活かせる		ほとんど活かせない	合計
今後の活動	19		11		0	30

セミナーの時間については、2時間が適切との回答が多いですが、今回はワークショップ参加者数（65名）が定員（30名）の2倍以上であったこともあり、時間が短いという回答も多くありました。

問い	適切	長い	短い	合計
時間	24	0	7	31

その他の自由記述の意見です。なお、表記は原文のまま記載しています。

（運営等全般に関する自由記述）

- 時間が短かった。
- ワークショップを中心とした運営で市民、企業の人々、じっくり話すことができてよかったです
- いろんな市民の意見を聞いた
- いろんな立場の人と出会えた
- タイムキーパーもしっかりされていたスムーズ
- 終了時間に一考の余地あり
- みんなでやりたいことを考えられたから
- 参加できてよかったです！
- 自分は何がやりたいことか考える
- 市民と一緒に草津のことを考える
- 初めて参加しました。専業主婦だとなかなか社会とかかわる事がないのでよかったです。大学の先生とのお話しも楽しかった。
- ワークショップの時間がたくさんあってよかったです。
- 一杯良いideaが出ました！
- みなさんがイイまちを創る意気込を感じた。
- 市民がここまで積極的に関与する取り組みは県内でも珍しい。市政に是非活かして欲しい。
- 普通のセミナーではなかなか一堂に会し得ない多様な人たちが集い、一つのテーマで話し合える空間はとても素晴らしいと思いました。
- だんだんお父さんや留学生、多様な方が参加され良かった
- 子ども達も活躍できてよかったですと思います。
- 活気が有った。
- 時間がたりない。もっと話したかった。おもしろかったー
- 「物足りなかった」という回答に対して）ワークショップの時間が短かったため。
- アーバンデザインセンターについてよく分かった。

（セミナーの内容）

- はっぴょうたのしかった。

- 市民の意見は幅広い、まとめるのは大変だと思うが、大卒はつながる交流を求めているという印象を持った
- 男性も大学生もいて、いろんな世代がいつもよりいてよかった。
- 皆さん、色々アイデアをお持ちだと分かったから
- とても楽しかったし、子どもも参加できる
- テーブルでぜんぜんちがうアイデアがでたのがおもしろかった。
- いろいろideaもらった
- アーバンデザインについてよく知ることができた
- 盛り上がっていました！一杯楽しかった話しました。
- UDCは箱ありきではなく、どのような機能をもたせるか議論が必要
- みんなの意見を聞くのはすごいと思います。
- いろいろな人の考え、夢、アイデアを聞いて勉強になった。
- たくさんの意見が出ておもしろかった。又、言うだけではなく、現実につながる流れがあるのが良かった。
- 「物足りなかった」という回答に対して) もう少しテーマ毎に検討チームをつくってもよかったと思います。
- 普段出会えない違う世代の人に出逢うことができ、草津のことを考えられた。

(今後の活動)

- 実現
- 具体的な意見も出ていた。
- 自分のやってみたい事がピンと来た
- 補助金に依存しない運営費用をどう考えていくか必要ですね。
- 自分で何かイベントを開催したいので
- こうなってほしいという明確なビジョンがみえてよかった
- 色々な優しい方々と話しました。とても楽しかった時間と思います。
- 地縁とテーマのゆう合を考えられた。
- 段階をふんでいて現実になりそうなので○

(開催曜日、開催時間)

- 土日のPMだとありがたいかも
- 週末なら参加できるのでよかった。

(自由記述)

- 草津野菜と通して、草津ママの草津野菜コンテスト開催し、コンテスト受賞料理を学食にして、大学生に、草津ままと草津野菜の想いをつなげたい
- アーバンデザインセンターに、多文化共生の視点を入れたものをぜひお願いします。
- 子育て世代の体づくり。自分のことをしてもよい！という文化づくりの必要性を感じる。アーバンデザインセンターであいさいな ホンモロコ 育ててたべる。
- 居場所づくり、ぜひやりたいです。
- もっと交流セミナーが欲しい。

- 女性や高齢の方などインキュベーションの場にもなるよう商工会議所、地域の事業所の発表、アイデアを聞ける場にもなるようよろしくお願いします
- 草津は学生の街であることや、今後、BRT が走ること、また市域を超えてび文公園があったりするので、立命館はもちろん龍大も含めて、学生が×××滞留交流できる場所づくり（ハード、ソフト）が必要と思います
- NPO 法人国際学生ボランティア協力 IUUSA の立命館大学びわこ・くさつキャンパス支部に所属しております。地域の方たちと結びついて何か企画など（防災事業、清掃活動など）を創っていったら良いなと考えております。学生と何かしたい！ 学生の力を必要としている。
という団体さんや地域の方々がおられましたら、IUUSA に声をかけていただければ幸いです。

（3）未来研究所としての成果

今回は土曜日の午前中に開催したこともあり、男性、留学生や学生、国・県・市の職員、大学の先生、県議会議員、市議会議員の方々にも参加いただきました。また小学生のワークショップ参加者を募集したこともあり、家族で参加いただいた方も多くおられました。小学生の子ども（11名）だけでグループをつくり、ワークショップに参加していただき、発表もしていただいたところ、小学生でも十分発表できることがわかりました。

（4）工夫したこと

今回の未来創造セミナーの目的は、「気軽に自由に議論や話ができる空間が演出され、常に新しい出会いが創造」される場づくりの検討です。そのために以下の工夫を行った結果、毎回のアンケートでは運営や内容について高評価を得ました。

①曜日や時間帯を変える

（平日午後2回、平日夕方2回、平日午前1回、土曜午前1回）

②子どもの遊びスペースを設ける（第2回以降設置）

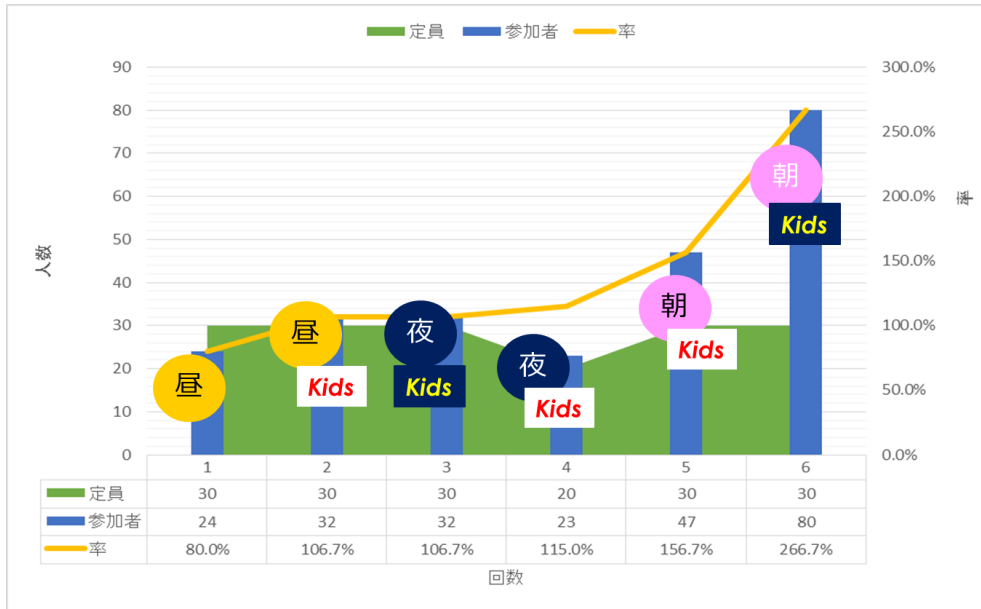
③会場のレイアウトを変える（毎回変更）

④子どももワークショップに参加してもらう（第3回）

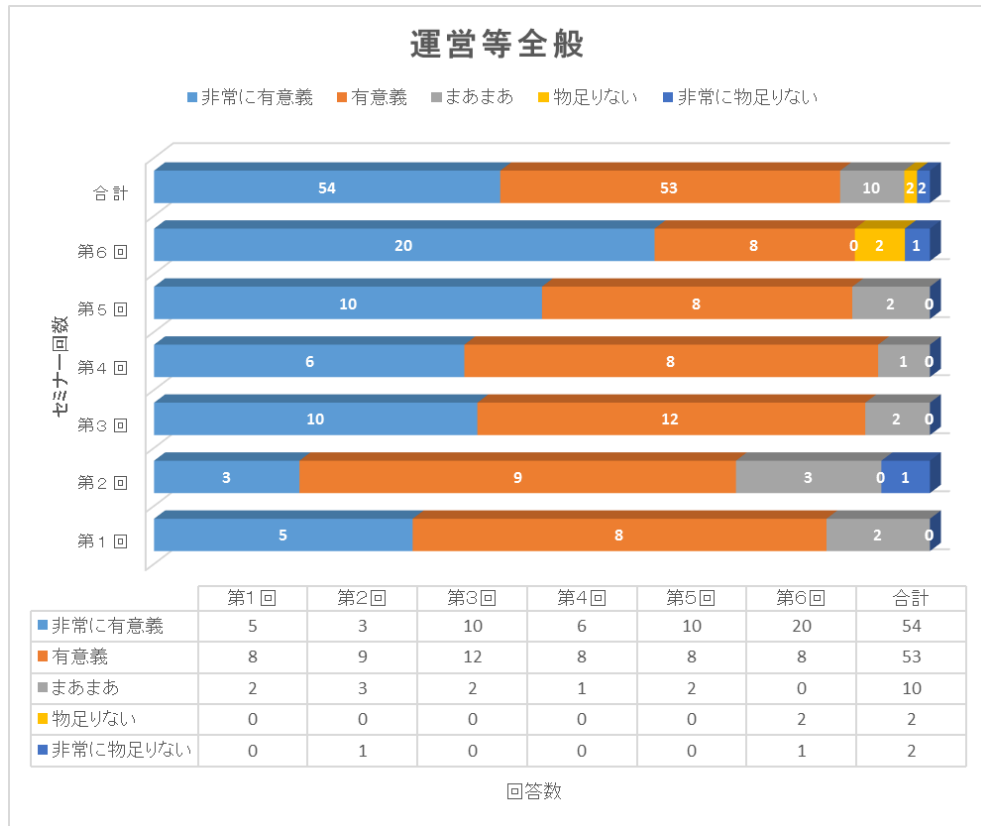
⑤市民の方にセミナーの運営をお任せする（第5回）

⑥会場に音楽を流す（第6回）

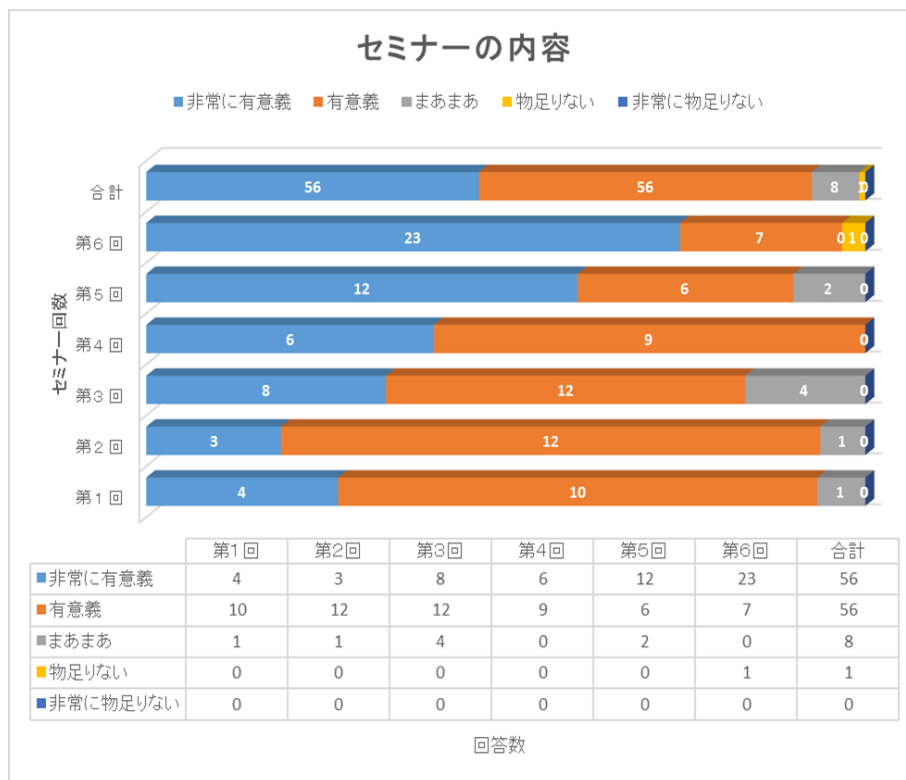
⑦子どもだけのチームを作り、発表する（第6回）



セミナー参加実績



セミナーの運営等全般について



セミナーの内容について

このように未来創造セミナーの所期の目的は達成されたと評価できますが、今回は毎回テーマを変えて行ったこともあり、参加者からは継続的に取り組める仕組み、常に専門家等に相談できる体制、そして実践につながる支援が求められています。

一方で、大学との連携強化プランを検討する大学地域連携強化プラン懇話会を設置し、新たな大学と地域の連携拠点として全国11か所で展開されているアーバンデザインセンターの一つとして、(仮称)アーバンデザインセンターびわこ・くさつを開設することが了承されました。

今後は産学公民連携のプラットフォームであるアーバンデザインセンターを拠点として実践につながる仕組みづくりを進めていく予定です。

以上